

令和6年松本市議会第3回臨時会  
市長提案説明

[6.7.30(火) 10:00]

令和6年松本市議会第3回臨時会を招集しましたところ、議員の皆様にご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。議案の提案理由の説明に先立ち、所信を述べさせていただきます。

松本駅周辺から松本城までの「中核エリア」の在り方を再設計し、将来に向けた骨太な指針・新たな見取り図を取りまとめる、検討会議の議論が、昨日スタートしました。

公共政策、都市デザイン、都市計画の専門家、商業・サービス業・観光・交通の各分野を代表する委員から、中核エリアを女性と若者が魅力を感じる公共空間に再編するための視点や、松本の都市構造の特性を踏まえて交通政策を大胆に問い直す必要性が示されました。

商都松本の象徴的存在であった大型商業施設の相次ぐ閉店と、昭和の区画整理事業から40年余りが経過した松本駅周辺の時間軸を重ね合わせ、松本の「まちの顔」「ハレの場」を再生する取組みは、女性と若者に選ばれ、豊かさと幸せを実感できるまちを実現するために不可欠であると考えます。

既に様々な民間投資の動きも見え隠れする中で、議論の時間に一定の制約はありますが、検討会議が濃密な議論を展開し、それを基点に議論の輪を広げ、松本の未来にふさわしい提言を取りまとめていただけるよう、市役所を挙げて取り組んでまいります。

先週26日に、信州まつもと空港は、平成6年のジェット化から、30周年を迎えました。

この間、札幌・福岡・神戸便の就航、国内・国際チャーター便の運航によって、長野県の観光・ビジネスの空の玄関口として、延べ430万人余りに利用され、松本地域の活性と経済に寄与してきました。

平成21年の日本航空の撤退表明、令和2年から世界を覆った新型コロナによる航空需要の落ち込みという2度の危機を、F D A・フジドリームエアラインズと共に乗り越え、昨年度の利用者数・利用率は、ともにF D A就航以来最高、開港以来2番目の数字を記録しました。

この9月には、国際チャーター便が、コロナ禍を経て4年8か月ぶりに復活し、モンゴル・ウランバートルと双方向の運航が予定されて

います。更にこの秋、入国審査用の施設が完成し、インバウンドを起爆剤とする旺盛な観光需要を背景に、国際化を見据えた路線拡充の機運は着実に高まっています。

そのために不可欠となる、1日当たりの離着陸回数の上限見直しに向けて、長野県が空港周辺4地区の住民の皆さんとの事前協議に着手しています。松本市は、「地元理解なくして、空港発展なし」という立場から、協議が進捗するための橋渡しの役割を積極的に果たし、「小さくとも世界につながる空港」を皆様とともに創り上げてまいります。

日本列島は、連日の猛暑が続いています。松本市も、最高気温35度以上の猛暑日が既に7日を数え、観測史上最も暑くなった昨年を上回る暑さとなる可能性もあります。

こうした暑さの中で、今週末には、松本の夏の風物詩の一つ「松本ぼんぼん」が開催されます。昭和50年のスタートから50回という節目を迎える今年は、昨年を上回る128の連・およそ7000人の参加が予定されています。

「アルプスの里 歴史を偲ぶ城下町に響かせよう 松本ぼんぼんの歌と踊りを！」をテーマに、特別企画として、全長3キロメートルに及ぶ踊りのコースに、松本城天守を臨める「外堀大通り」が加わりました。更に、外国人旅行者などからの要望に応じて、踊りの最終回は一般の観客が飛び入りで参加できるようになっています。

松本城を眺めながら踊り手と観客が心をついに踊る姿が、松本ぼんぼんの新たなハイライトとなり、国際文化観光都市にふさわしい盛り上がりになることを期待しています。

それでは、ただいま上程された議案について、説明申し上げます。提案した議案は、契約2件のほか、報告案件として、緊急を要し専決処分をした補正予算1件の、合計3件です。

契約は、都市計画道路中条白板線白板橋下部工工事の請負契約を締結するもの1件と、波田小学校長寿命化改良事業第1期主体工事の変更契約に伴う議決更正1件を提出しています。

合わせて、波田小学校長寿命化改良事業の変更契約に際し、必要な債務負担行為を設定するため、地方自治法第179条の規定により7月10日付けで専決処分をした、令和6年度一般会計補正予算を報告しています。

そのほか、議案以外のものとして、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告３件を、報告しています。

以上、本日提案した議案等について説明申し上げました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

(以 上)